

野生イノシシの肉片からの基準値を超える放射性セシウムの検出について

平成30年12月10日

生 活 環 境 部

1 概要

湯沢市で捕獲した3頭のイノシシを検査したところ、その肉片から、福島第一原発事故を契機に定められた一般食品の国の規格基準値（100ベクレル／kg）を超える放射性セシウムが、県内の野生鳥獣では初めて検出された。

2 検出状況

NO	捕 獲 日	捕獲場所	検査日	検査結果（単位：ベクレル／kg）				摘 要
				放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム合計	
1	平成30年11月19日	湯沢市秋ノ宮	11月22日	不検出	10	170	180	同一群れでの捕獲
2	〃	湯沢市秋ノ宮	11月26日	不検出	14	150	164	
3	平成30年11月25日	湯沢市小野	11月27日	不検出	12	120	132	

3 野生鳥獣の放射性物質モニタリング状況

- ・県内の野生鳥獣については、国の通知に基づき平成23年度から猟友会の協力のもと、検査を実施している。
- ・平成29年度までに39頭羽（クマ17頭、ニホンジカ6頭、イノシシ4頭、カモ類12羽）を検査してきているが、いずれも国の規格基準値以下となっていた。

4 検出された背景

県内でイノシシは、平成24年2月に湯沢市秋ノ宮で初めて目撃（捕獲）されて以降、湯沢市を中心に年々その数が増えてきており、今回検査したイノシシは、国からイノシシ肉の出荷制限指示を受けている宮城県から越境してきたものと推察される。

5 対応

- ・宮城県北西部や岩手県南西部に隣接する湯沢市と東成瀬村で捕獲されたイノシシについては、当面、自家消費や他人への譲渡を控えるよう猟友会に対し要請した。
- ・今後、猟友会等の協力を得て、当該地域で捕獲されたイノシシを重点的に検査し、その情報の公開に努める。
- ・県内に野生イノシシの解体処理施設はなく、野生イノシシ肉は流通していないが、国との連携を密にし監視・指導等の必要な対策を講じていく。

【参考】

秋田県イノシシ目撃位置図(平成23年度～)

